

CUBE 音声コール率の設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定の概要](#)

[ヒストグラム形式の出力例](#)

[表形式の出力例](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco IOS[®] ソフトウェア リリース 15.2(2)T で、表またはヒストグラムの形式で CUBE の音声コール レートを表示する **show voice call rate** コマンドが追加されました。これにより、60 秒の間に行われたコールについて優れたコール モニタリング機能が提供されます。シスコでは今後、**show ISDN call rate** コマンドの動作に合わせてこの期間を 60 分、さらには 72 時間に延長する予定です。

前提条件

要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、ソフトウェア バージョン、Cisco IOS ソフトウェア リリース 15.2(2) に基づくものです。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定の概要

!--- CLI to enable or disable voice call rate. !--- By default voice call rate will be enabled.

```
CUBE(conf)#voice service voip
CUBE(conf-voi-serv)#voice ?
  call  enable voice call related information
CUBE(conf-voi-serv)#voice call ?
  rate  to enable voice call rate related information
CUBE(conf-voi-serv)#voice call rate ?
  monitor  enable voice call rate monitoring
CUBE(conf-voi-serv)#voice call rate monitor
```

!--- CLI to display the voice call rate. CUBE#show voice call ?

```
rate          voice call-rate in seconds
CUBE#show voice call rate ?
  table  voice call-rate in tabular format
        |      Output modifiers
        <cr>
CUBE#show voice call rate
CUBE#show voice call rate table
```

ヒストグラム形式の出力例

- 上記の図では、4 秒目で 15 本のコール レッグが作成されています。同様に、28 秒目で 14 個のコール レッグが作成され、43 秒目で 6 個のコール レッグが作成されています。
- Y 軸は動的です。つまり、システムの CPS が 100 を超える場合は Y 軸が動的に計算されます。

表形式の出力例

- [Period] は 5 秒間の間隔を示します。
- [Actual] は 5 秒間の期間において作成されたコール レッグの数を示します。
- [Average] は 5 秒間の期間において作成されたコール レッグの平均数が定義されています。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)